PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-352548

(43) Date of publication of application: 07.12.1992

(51)Int.Cl.

A61B 5/117

H04B 7/26

(21)Application number: 03-127467

(71)Applicant: YUUSEIDAIJIN

MATSUSHITA COMMUN IND CO LTD

(22)Date of filing:

30.05.1991

(72)Inventor: WADA MASAHARU

KINOSHITA MASAFUMI

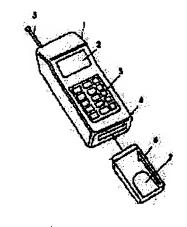
OHASHI KAZUYA

(54) PORTABLE TELEPHONE SET WITH PERSONAL IDENTIFICATION FUNCTION

(57)Abstract:

PURPOSE: To identify a handling person by a personal identification function depending on a fingerprint corresponding to the personalization of the portable telephone set and to set the personal phone number of the handling person.

CONSTITUTION: A personal identification part 6 is inserted to a portable telephone part 1. Next, when the handling person puts a finger on a fingerprint read part 7 of the personal identification part 6, the fingerprint is read, fingerprint data stored in the personal identification part 6 are collated with the information of the fingerprint read by the fingerprint read part 7 and when they are coincident, the phone number of the handling person is read from the personal identification part 6. This phone number is set to the portable telephone part 1 as the personal phone number of the portable telephone set and the phone number is displayed at an indication part



2. Further, the phone number of a communicating party is inputted from a keyboard 3 and then, speaking is started.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-352548

(43)公開日 平成4年(1982)12月7日

(51) Int CI. ⁵ H 0 4 M	1/66	豫則配号 B	庁内整 亞番号 7341-5K	F J	技術表示管所			
A 6 1 B H 0 4 B	5/117 7/26	109 R		A 2 1 5	E /15	•		
			8932 – 4 C	A61B		_	22	(全 5 頁)
(21) 出題番号		特膜平3−127467		(71) 出願人	5010190 郵政大臣	-		
(22)出題日		平成3年(1991)5	(71) 出願人	東京都千代田区長が関1丁目3番2号 (71)出順人 000187725				
				·		民協議市港	会社 北区網島東4 ⁻	丁目3番1
		·		(72) 発明者		老区路布台	一丁目6番9 [。] 驼研究室内	序 郵政省
				(74)代强人		小銀給)
							最	終頁に続く

(54) 【発明の名称】 個人認証機能付き機器電話機

(57) 【要約】

(目的) 携帯電話機のパーソテル化に対応して、指紋による個人認証機能により取扱者を認証し、取扱者組入 用の電話番号を終帯電話機に認定可能とする。

【特成】 個人認証部6を携帯電話部1に挿入する。次に取扱者が個人認証部6の指放競取部7に指を置くと指数が設み取られ、個人認証部6に記憶されている指放データと指数脱取第7で読み取られた指紋指報とを無合し、合致すれば個人認証部6から取扱者個人の電話番号が競み込まれる。これが、携帯電話機の電話番号として携帯電話部1に設定され、表示部2に電話番号が表示される。さらに、キーボード3から通話相手の電話番号を入力する。すると、通話が開始される。

1…病葡萄話部

2 --- 医参説

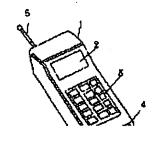
な…ホーキート数

4 --- 配紅本教司

る… アンテナ

6 --- 個人記武器

7 … 指數建取薪



JP,04-352548,A

• STANDARD O ZOOM-UP ROTATION No Rotation

PREVIOUS PAGE | NEXT PAGE |

1

【特許請求の範囲】

指の指紋情報を読み取る指紋蔵取部と、 【:1 取象館 取扱者の上記指紋と電話番号が登録されているデータ記 憶部と、上記指紋競取部で読み取った指紋情報と上記デ ータ記憶部に記憶している指紋データを比較し、上記指 枚が合致することにより取扱者を認証する認証部および 他の機器と接続する外部接続部とを有する個人認証部 と、この個人認証部で指紋情報を利定した結果と上記取 級者の電話番号などを上配個人認証部から受け取り、電 前の可否を制御する制御部と、電話番号などを表示する 10 表示部と、通信先の電話磁号などを入力するキーボード 部と、送信情報を入力するマイク部と、受信情報を出力 するスピーカ部と、上記制御部からの電話登号荷額によ りダイヤルし、上記マイク部からの送信情報を出力し、 ・受信情報を上記スピー方部に出力する電影部と、この電 話部からのダイヤル情報や通話情報を無線で送受信する 無線部と、上記個人認証部と接続する認証接続部とを含 する機構電話とを備えた個人認証機能付き機構電話機。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、移動無線を利用した携帯電話機のパーソナル化に対応して、固定の電器号が設定されていない携帯電話機に、個人認証機能により取扱者を認証し、取扱者個人用の電話番号を設定可能とした携帯電話機に関する。

[0002]

【従来の投稿】近年、携帯電話機は何時でも、何処でも、誰とでも通話が可能な便利性から普及は楽しく、個人用電話として電話番号の散定が可能な携番電話機のパーソナル化が検討されている。

【0003】従来、この物の個人用電部として電影器号の設定を可能とする機器電影機は取扱者の個人認定の方法として暗逐番号などの本人しか知らない情報や I Dカードなど本人しか持っていない物によって行い、個人用電話として電影番号の設定を行っている。

【0004】以下に従来の個人認定機能付き携帯電話機について説明する。図4は従来の個人認定機能付き携帯電話機の銀視図を示すものである。図4において、46は暗証番号や電話番号が登録されている個人認証用のIDカードである。41は携帯電話窓である。44はカー40ド挿入口であり、個人認証用のIDカードが挿入される。42は表示部であり、電部番号や個人認証の判定情報などを表示する。43はキーボード部であり、暗証番号や通話完の電話参号などを入力する。45はアンテナであり、無線により選延情報を送受信する。

Z

証番号や電部番号を読み取り、書き込みする。55は設示部であり、電話番号や個人認証の判定情報などを表示する。56はキーボード部であり、暗証番号や選話先の電話番号などを入力する。54は制御部であり、キーボード部56から入力された暗証番号とIDカードリーダーライタ部53によりIDカード51から読み取った時証番号を照合し、販合結果を表示部55に出力する。59はスイク部であり、受信情報を入力する。59はスピーカ部であり、受信情報を出力する。67は電話部であり、制御部54からの監証情報を無額部60に出力し、無線部60からの受信情報をスピーカ部59に出力し、無線部60からの受信情報をスピーカ部59に出力する。60は無線部であり、電話部57からのダイヤル情報や選話情報を無線信号61で送受信する。

【0006】以上のように構成された個人認証機能付き 機帯電話機について、図8の標略フローチャートおよび 図4、図5によって動作を説明する。まず、ステップ7 1でIDカード46、51をカード挿入口44に挿入す る。ステップ72でキーボード部43、56から暗証番 20 号を入力する。ステップ73で制御部64によりIDカ ード46、51内に登録されている暗証番号とキーボー ド部43、56から入力された暗証独号を照合する。ス テップ 7 4 で陪誑番号が一致すれば、取扱者個人の電話 告号が1Dカード46、51から読み込まれ、ステップ 75で取扱者の電話番号を表示部42、55に表示し、 取扱者個人の電話番号の携帯電話機となる。またステッ ブク4で暗証番号が不一致ならステップで6で表示部5 5 に不一致の状態表示と暗証番号の再入力の操作誘導表 示を行う。暗証番号が一致するとステップ 7 で通信相 30 手の電話番号をキーボードから入力する。するとステッ ブ78で適信が開始される。

[0007]

【発明が無決しようとする課題】しかしながら、上記の 携帯電話機では、暗証番号が他人に無視することや I D カードを忘れたり、盗まれたりすると、不正に使用され る可能性があり、セキュリティを充分に確保することが できない。またセキュリティ確保のために暗証番号の祈 数が多くなった場合、暗証番号を忘れたり、暗証番号の 入力誤りなど操作性に問題があった。

【0008】本発明はこのような従来の問題点を解決するものであり、指紋の万人不同、終生不変という2大物数を用いた個人認証機能により、セキュリティが高く、操作性の良い、取扱者の電話番号が設定可能な携帯電話機を提供することを目的としている。

[0009]

 IP,04-352548,A
 ● STANDARD ○ ZOOM-UP ROTATION No Rotation
 Image: Comparison of the previous page | Next page | Ne

3

により取扱者を認証する認証部と、他の機器と绞続する外部接続部とを有する個人認証部と、個人認証部で指紋情報を判定した結果と取扱者の電話為号を個人認証部から受け取り、通語の可否を制御する制御部と、電話番号などを表示する表示部と、通話先の電話番号などを表示する表示部と、通話先の電話番号などを表示する表示部と、通信報を入力するマイク部と、受信情報を入力するマイク部と、送信情報を入力するの必然情報を無線部によりダイヤルし、マイク部からの送信情報を無線部に出力し、無機部からの受信情報を表現力する電話部と、電話部からの受信情報を温力する電話部と、電話部からのダイヤル情報や通話情報をおいる電話器とを有する携帯電話部とを設け、取扱者個人用の電話器号の設定を可能とした携帯電話器において、セキュリティが高く、操作性の良い取扱者の個人認証を可能にしたものである。

[0010]

【作用】したがって、本発明によれば、取扱者個人の電話番号が設定可能な銭得電話において、取扱者個人を認証する方法として、指数の万人不同、終生不変という2大物器を用いた個人認証により、暗歪番号の編表が無 30く、個人認証部を紛失した場合でも不正使用は困難であり、セキュリティが高く、京た暗を番号をキーボードから入力する必要が無く、指放説取部に指を置くだけであり、純作性の良い取扱者の個人認証を可能とすることができる。

[0011]

【実施例】以下、本発明の一実施例の梯底について図面とともに説明する。図1は本発明における個人認証機能付き携帯電温機の糾視図、図2は同実施例における概略プロック図、図3は同実施例における機略フローチャー おりとである。

【0012】図1において6は個人認証部である。7は 指載読取部であり、置かれた指の指数を読み取る。1は 携帯電話部である。4は認証法統部であり、個人認証部 6が挿入される。2は表示部であり、電話番号や個人認 証の判定情報などを表示する。3はキーボード部であ り、通話先の電話番号などを入力する。6はアンテナで あり、無額による送受信を行う。

【0013】図2において、11は個人認証部である。 13は指の指数情報を説み取る指数説取部である。14 40 は取扱者の指数と電話番号が登録されているデータ配憶 部である。12は指数読取部13で読み取った指紋情報 とデータ記憶部14に記憶している指紋データを比較 し、指数が合致するかを判定する認証部である。15は 他の機器と接続する外部接続部である。16は携帯電話 結果と取扱者の電話番号を個人認証部から受け取り、最 話の可否を創御し、結果を表示部18に出力する。21 はマイケ部であり、送信情報を入力する。22はスピー 力部であり、受信情報を出力する。20は電話部であ り、制御部17からの電話番号情報によりダイヤルし、 マイク部21からの送信情報を無熱部に出力し、無線部 23からの受信情報をスピーカ部22に出力する。23 は無線部であり、電話部20からのダイアル情報や選話 情報を無線信号25で送受信する。

【0014】以上のように構成された個人認証機能付き 携帯電話機について、図3の観路フローチャートおよび 図1、図2によって動作を説明する。まず、ステップ3 1で個人認証部6、11を携帯電話部に挿入する。ステ ップ32で個人認証部6、11の指紋読取部7、13に 指を置く。ステップ33で指紋を読み取る。ステップ3 4で個人認証部6、11の認証部12により競み取った 指紋情報とデータ記憶部14の指紋データとを照合す る。ステップ35で指紋情報が一致すれば、取扱習個人 の電話番号が個人認証部6、11から読み込まれ、ステ ップ36で取扱者の電話番号を表示部2、18に表示 し、取扱容個人の電影器号の携帯電影機となる。またス テップ35で抱紋情報が不一致ならステップ37で表示 部2、18に不一致の状態表示と指紋の再説み取りの嫌 作誘導表示を行う。指紋情報が一致するとステップ38 で通話相手の単話番号をキーポード3、19から入力す る。するとステップ39で通信が開始される。

【0015】このように、上記実施例によれば、携帯電 語機に取扱者個人の電話番号を設定するための個人認証 機能の不正使用に対するセキュリティが高く、また指を 置くだけという条件性の良い取扱者の個人認証を可能と する利点を育する。

[0016]

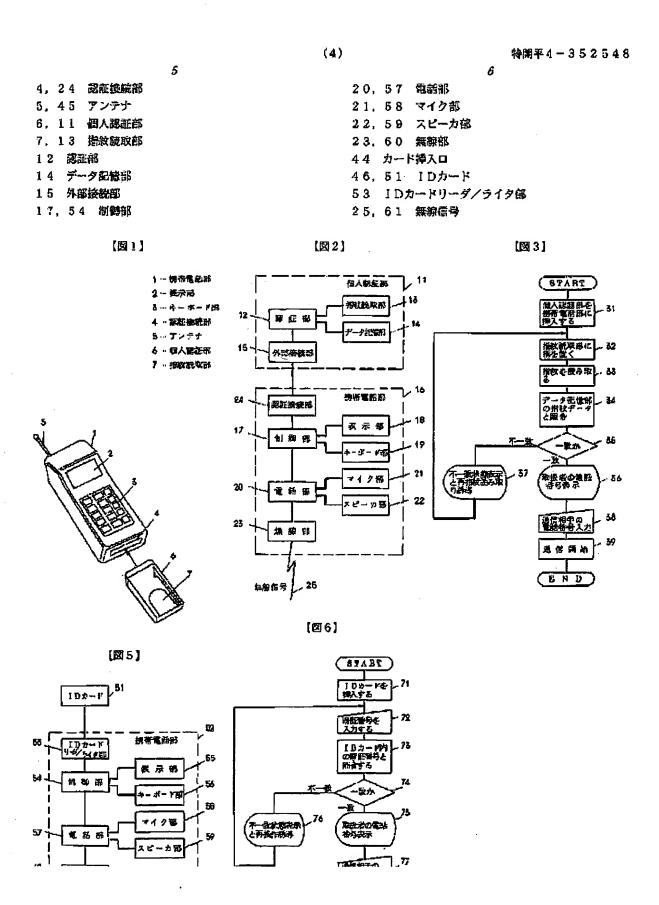
【発明の効果】本発明は、上紀実施例から明らかなように、指紋による個人認証機能により、携帯電話機に取扱 労個人の電話番号を設定するための個人認証機能の不正 使用に対するセキュリティが高く、また指を個くだけと いう機作性の良い取扱者の個人認証を可能とする効果を 省する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における個人総証機能付き機 帯電話機の祭祖図

- 【図2】同実施例における概略プロック図
- 【図3】 同実施例に置ける機略フローチャート
- 【図4】 従来の個人既距線能付き携帯電話機の斜視図
- 【図5】同楽置の観略ブロック図

 IP,04-352548,A
 ● STANDARD ○ ZOOM-UP ROTATION No Rotation
 Image: Reversal Reload Previous Page Next Page



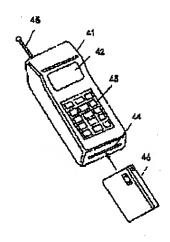
 IP,04-352548,A
 ● STANDARD ○ ZOOM-UP ROTATION No Rotation
 ■ □ REVERSAL RELOAD

 PREVIOUS PAGE
 NEXT PAGE

(5)

特開平4-352548

[图4]



フロントページの概念

(72)発明者 木下 建文 神奈川県翻浜市港北区組島東四丁目3番1 身 松下通信工業採式会社內

(72)発明者 大橋 和也 神奈川県横浜市港北区網島東四丁目3番1 身 松下通信工業株式会社内

 IP,04-352548,A
 ● STANDARD
 ZOOM-UP ROTATION No Rotation
 I REVERSAL
 RELOAD

 PREVIOUS PAGE
 NEXT PAGE